

|     |      |     |      |     |           |
|-----|------|-----|------|-----|-----------|
| 学校名 | 茨城大学 | 個人名 | 松村 健 | 作品名 | たてかけるげたばこ |
|-----|------|-----|------|-----|-----------|

○ 製作の動機・目的

本作品の主な目的は教育現場で学校教材として用いることである。現在の中学校の技術教育の木材加工の分野では皆が同じものを作るという作業的なものではなく、同じ材料から各個人がオリジナルの設計で製作・塗装までを行っている学校が増加してきている。この作品は実際に学校でよく用いられているSPF材の1×4・6Fを2本と1×12・6Fを1枚の3つの板材のみを加工して製作した生徒に提示するモデル作品である。

○ 利用方法

利用方法としては上にも述べたように生徒に提示するモデル作品として用いる。モデル作品なのでの大きさがやや大きいですが、生徒に作らせる場合はそのときに用いる材料に合わせた設計図も用意し、生徒がこの作品を作りたいという場合にも対応しやすい形である。

○ 工夫したところ

写真でもわかるように一番下と下から4段目には穴や切込みが入っており、傘やバット、竹刀、弓などが立てかけられるようになっている。棚の高さや穴の形を変えるだけでもオリジナル製が現れる。3つの板材を無駄なく利用しており、中学生に学んでほしい道具・機械（のこぎり・かんな・のみ・ボール盤・角のみ盤など）の学習ポイントが多く含まれている。また、接合は組接ぎと天板は木工用の接着剤で接合し、釘や木ねじは使用していないというのも工夫した点である。

